※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　現代の国語　（東京書籍）						
副教材等	高校基礎力 100%　漢字力トレーニング（増進堂・受験研究社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年次では、主に現代文について学習します。
・授業では、課題に対して、自ら考えるとともに、周りの人と協働で考える活動を行います。
・主に現代の文章を「読む能力」をしっかり向上させるよう、授業内容を身に付けてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業はこちらが用意したプリントを完成させるという様式で行います。板書を書き写すだけではなく、授業のポイントを理解し、自らが考えたことを自らの意見として書くということも求められます。自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをメモし、それらも含めて教材をより深く理解するよう心がけてください。
・2 学期の後半から 3 学期にかけて、自分が読んで共感した本の内容を紹介する「読書プレゼンテーション」を行います。日ごろから読書することを心掛けておいてください。

2　学習の到達目標

現代文の読解を通して、文章を的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成をめざす。
（１）現代文の読解力を身に付けるとともに、明治以降の散文・韻文に対する理解を深められる。
（２）書いている内容を的確に理解すること、登場人物の心理に共感し、情景を豊かに想像できる力を伸ばす。
（３）日本の文化を深く理解し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
（４）読書の楽しみを理解し、活字から様々な情報が得られるなど実感を持たせる。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の近現代の背景にある文化理解、言葉の特徴やきまり、漢字や語彙などの知識を正しく身に付けている。	文章を正確に読み取り、内容の理解や登場人物の、筆者への理解ができ、幅広く読むことで、自分の考えをもつことができる。 適切な語句とその場に応じた的確な表現による文章が書け、自分の考えをまとめ発展させている。 目的や場に応じて理解しやすい発言ができ、正確に聞き取り内容理解ができ、互いに話し合い、自分の考えを的確にまとめている。	お互いを尊重し伝え合う力を高めることができ、文化に対する関心を深め、国語力を育成、発展させている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分の道を切り開いた筆者の体験談からから仕事に対する思いを読み取る ［教材］ 「鍋洗いの日々」	a:漢字･語句の読み書きと意味の把握 b[　読　]:筆者の言いたいことや文章の意図･意味を理解する。 c:授業中の発言、提出物	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	提出物 小テスト 読書ノート
	戦時下における人々の状況を読み取り、理解する。戦争への思いに共感し共有する。 ［教材］ 「りんごのほっぺ」	a:漢字･語句の読み書きと意味の把握、戦争･原爆に関する知識 b[　話／聞]:橋座の読解、戦争体験を取材し発表する c:発表の出来具合、発言、提出物	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	提出物 小テスト 読書ノート
2学期	筆者の少年時代の体験を読み自分の経験と比較して考える。 ［教材］ 「ルリボシカミキリの青」	a:漢字･語句の読み書きと意味の把握 b[　書　]:教材の読解、自分の少年時代を振り返り、どんな子供であったか文章にする。 c:授業中の発言、提出物(作文、その他)	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	提出物 小テスト 読書ノート
	描かれている内容から主題を読み取り、現代社会の問題と向き合う ［教材］ 「羅生門」	a:漢字･語句の読み書きと意味の把握 b[　読　]:教材の読解、極限状態にある登場人物の心理の変化と場面の展開を読み取り、現代社会に置き換えて考える。 c:授業中の発言、提出物	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	提出物 小テスト 読書ノート

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	人間の心・意識につて体験を踏まえた文章を読み、人間への認識を深める。 ［教材］ 「不思議な拍手」 ［教材］	a：漢字・語句の読み書きと意味の把握 b［ 話／聞 ］：教材の読解、筆者の考えの進め方への理解、帰納と演繹という証明方法を理解し、特に帰納法については、課題を与えて事例を集め、事例からいえることを結論として発表する。 c：発表内容、発言、提出物	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	提出物 小テスト 読書ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20-30　）時間

・書くこと　…　（　30-40　）時間

・読むこと　…　（　10-20　）時間